

## 【一般投稿】

三岳 裕文 (ミタケ ヒロフミ) (24C)

平成2年に佐世保高専を卒業して、30年以上の年月が経ちました。30数人の工業化学科同窓生の多くの消息を知り得てはいないものの、私のように、若い時代に、2度転職し、今は工業化学の世界とは全く異なる、一企業の総務部長という地位となっている経歴の持ち主も相当に稀有な存在だと自負しています(笑)

では、低学年までの教養科目、3年以降からの専門科目が、今の仕事に役に立っていないかという、そうでもない日常に、高専生であったことに、少なからず誇りを持っていて自分がいたりもします。子供の同級生に、関東の高専に在学中の学生がいたり、その学校の偏差値が相応に高いものだったりすると、自分もそんなにバカではなかったのだろうと思ったりもします。

現在もその傾向は、多少あると思いますが、高専の教授陣の方々にも、研究等があるせいか、学生を教育するというよりも、持論を学生に披露していくというタイプの先生もいらっしゃいます。習っている時は、『このやろう、もっと学生がわかるように説明しろよ!』と憎き存在であった先生の方が、自分の記憶に強烈に残っていたりするものが、不思議ではあるものの、こんなものだろうと思ったりします。特に化学のI先生や応用物理のY先生は、強烈でした。

これからの高専教育というものが、どう変遷していくのか、とても楽しみにしています。多くの卒業生にとって、5年間という学生生活が、その後の人生を決める、大きな柱となって欲しいと切に感じています(私個人には、重要な5年間でした)。

最後に、多くの在學生、そして卒業生に幸多かれあることを祈念しております。

## 【追伸】

高専3年生までの時代に、幾度となく試合した県立大崎高校野球部がセンバツに出場することほど、嬉しいことはありません。もちろん、母校の野球部のさらなる発展も心より期待しております。

白川 鮎美 (34C)

皆さんこんにちは。34Cの白川鮎美です。バスケット部でキャプテンをしていました。

私は現在、国会議員を目指して政治活動をしています。なぜ、高専を卒業して政治家なの?と不思議に思う人も多いと思います。私も不思議です。学生時代にはまるで想像もしていなかった道が今目の前にあります。しかし、「運命は自ら招き、境遇は自ら造る」という言葉もある通り、この道を選択したのは私自身です。

私が卒業した2000年は、まさに「就職氷河期」真只中で、特に女子学生には厳しい就職活動でした。化粧品を造る仕事がしたい、という夢がありましたが求めるような職はなく、デスクワークが何かもわからないままにITベンチャー企業をとりあえず受け、なんとか就職しました。現場は、地方銀行のシステム部、大手電機メーカーの人たちとデスクを並べる、いわゆる業務委託という派遣同然の社会人スタートは、残業、休日出勤、徹夜も当たり前ブラックな業界でした。3年で離職することを決め、手に職をつけ美容業界に転職、夢だった化粧品を使って女性たちを美しく磨き、社会進出したい女性を支援する美容スクールの講師として、多くの女性たちの人生を応援することが生きがいとなりました。しかし、世の中はその女性たちを受け入れる準備が整っていないという現実も目の当たりにしました。夢や希望を持って努力しても報われない社会を変えたい!と起業し活動していた時に、とある団体から国政候補者にと声を



取締役 執行役員 営業第1本部長 大久保 篤 機械工学科 18期卒業  
本社 〒107-0052 東京都港区赤坂 2-11-7 ATT 新館 10階 TEL 03-6230-4414 (代表)  
F1 松浦工場 〒859-4521 長崎県松浦市今福町北免 1642-12 TEL 0956-73-8111 (代表)  
URL : <https://www.chukoh.co.jp>

中興化成工業は1963年松浦市で創業以来、ふっ素樹脂を主力とした高機能樹脂の総合加工メーカーとして歩んできました。佐世保高専卒業生は17人が在籍し、お客様の課題にソリューションを提供するために各拠点で活躍しています。

かけて頂きました。大変驚きましたが、これは社会を変えられるチャンスかもしれない！と、チャンスの女神の前髪に大きく手を伸ばしました。

女性、理系、若い、いわゆるリケジョの私の政治活動は前途多難でした。しかし唯一、高専で学んで役に立った事は、多様性です。15歳から20歳までが共に学び、ほぼ男子校で留学生も多かった学生生活は、私の多様性の基礎を育ててくれました。日本の男性優位社会の象徴とも言える政治の世界では、この感覚が非常に重要であると思います。庶民感覚も含め、私は今の政治に足りない、必要な要素を沢山持っています。

2019年の参議院選挙を経て、残念ながら私の胸にバッチはありません。しかし、諦めてはいません。2020年に始まったコロナショックにより、就職氷河期の私たちよりも厳しい未来が待っているであろう後輩たちが、なりたい自分になる選択を諦めなくていいように、全ての人が生きづらさを感じない希望ある未来を造っていきたいからです。そして、愛する母校「高専」の存続を守り、日本の科学技術の更なる発展のために貢献したいと考えています。

人の可能性は無限大です。頑張りましょう！！

## シブバンド活躍記

山口 浩一 (12M)、来崎 良輝 (19C)

当初、支部の集いで先輩がバイオリン演奏を披露されました。また別の回では、川口先輩がクイズで盛り上げて下さいました。これらの余興の効果は大変大きく、皆さんの会話が一気に増えて、とても盛り上がりました。限られた時間での宴会ですので、余興に時間を掛けては歓談の時間が短くなってしまいますが、会が盛り上がるのは間違いないと考えました。

それから余興の演目として、津軽三味線の演奏を3回行い、共に演奏してくれる仲間を探していました。最初に異にかかったのが来崎さんでした。その後は、もう毎年入れ食い状態です。多くのメンバーに恵まれ、毎回、演目を決めるのが楽しみになりました。今後の夢は、各支部にも、しぶバンドを結成してもらいコラボしたり、全国コンクールが出来れば素晴らしいと思っています。(山口)

支部、洪、四部、シブバンド～硫酸バンド～じゃないよ～♪

私の記憶が正しければ、料理の鉄人はTBS。。。ちと違う。最近物忘れもひどく、時系列ブレブレ、アルツハイマーか痴呆症か？多分フィクションもあるが、雑巾頭を絞ってみよう。

ことの始まりは、紀元前平成（O総理、記憶に残るう）、同窓会50周年の記念式典での佐世保市で活動しているバンド“風見鶏”の舞台演奏の成功がキッカケ？ではと思うが、謎は尽きない。。。アガサクリステイ。

その後、単飲みの支部会総会を盛り上げようとN同窓会長（当時）が発言し、現シブバンド（この時点で名前はまだない。。。）リーダーY氏（実は風見鶏のリーダーでもある）がK氏をそそのかし、いちご白書をもう一度（ビリーバンバン）、酒と涙と男と女（河島英五）をひどいハウリング付きで演奏した。その事故にも関わらず、H名誉会員が青春時代を思い出すという逸話も発生したとかしないとか。。。その後の打ち上げで、音楽好きなID氏やIS氏も加わり、なんかやろうでとなったんかな？。。。ほいで、1年経過。翌年の支部会では、熊本のSAS氏も引きずり込み、ずーとるび否、ビートルズのヒットメドレーをY氏、ID氏、SAS氏で演奏した。気持良かった～自己愛撫！！レノン、マック、りんごは富士、最高！勢い余って、続く母校卒業生の壮行会での

日本の西の果て、長崎から海外を攻める



株式会社 亀山電機  
Kameyama Electric Co.,Ltd.

代表取締役 会長 北口 功幸  
機械工学科 20期卒業  
本社 〒852-8002 長崎市弁天町3番16号  
TEL : 095-864-7000  
URL : <https://www.kameyama-grp.co.jp/>

亀山電機は、IA、OA、Webの3つの事業を通じて日本の西の果て「長崎」から海外を攻めている企業です！世界のプラント・工場・オフィスが必要とする自動化（オートメーション）に「Industrial Automation (IA)」「Office Automation (OA)」「WEB」の最適な技術を提供致します。佐世保高専卒業生；  
21E 栗田浩一 27E 大田義之 32S 滝川雄



弊社ホームページ

演奏打診が同窓会よりあり（若者の同窓会への勧誘こじつけ、学校側も断れなかったようだ。。。）、Y氏、ID氏、IS氏、K氏、でLEMON（米津玄師）、栄光の架け橋（ゆず）を演奏、K氏は緊張し手が震え、ギターを抱えたまま青く朽ち果てていた。

恐らく此の参加時にバンド名をシブバンドとしたのでは無かったか？うんうん。たぶん。

さらに次の支部総会では、メロディ（玉置浩二）、世界に一つだけの花（SMAP）を演奏し、確固たる地位を確保する。その勢いに乗じ、そのあとひきつづき長崎支部総会にも乗り込んだ。

その際には新メンバーサッチィ首相T氏も誘い込み、5名の体制になり、WINDINGROAD（絢香×コブクロ）、メロディ、校歌を演奏し、参加者総員で盛り上がったとな。CD作成依頼の打診もあったげな。スゴイ！！その後S氏も勧誘し、バンドマン・ウーマンは、増加繁殖中。Covid-19より。

しかし、その後の活動はコロナの文字固めで1本取られたままである。早くこいこい博打じゃないよ。普通の日。

演奏時の練習はY氏の練習場、H公民館2階、特急みどりが通過すると揺れる耐震構造大丈夫か？Y氏の指導厳しいが、愛とやさしさを持っている。らしい。これからも、和気愛愛と楽しく続けていければ、これ幸い。無料のカラオケ（施設使用料はいただきます）と思って、是非合流交流直流ください。

さて、シブバンドのシブは、支部（佐世保支部）、渋（しぶいつもり）、四部（四部合唱）の言葉を掛けている。認識共有はメンバーもしていない（来崎）。

## 【学生投稿】

### 第1回全国高専ディープラーニングコンテスト (DCON)に参加して

令和元年度・電子制御工学科5年 永田 航希、若菜 慶友  
令和元年度・専攻科2年 辻 海元、松本 大樹

DCONの簡単な紹介から始めます。DCONはディープラーニングとハードウェアを組み合わせたプロダクトやサービスを創造し、起業したと想定した場合の企業価値を投資家（審査員）に判断してもらうコンテストです。ソフトにもハードにも強く、すぐに手が動くことと評判の高専生にこれからのディープラーニング人材として期待が寄せられています。

DCONの流れとしては、どんなことをやりたいかを伝える1次審査、もう少し具体的なビジネスイメージを作り、実際に製品のプロトタイプも製作する2次審査と続きます。2次審査を通過すると、起業家・経営者の方がメンターについてくださり、ビジネス面やプレゼン面のアドバイスをいただけますので、ビジネスや起業の知識が無くてもここで学ぶことができます。最後に本選が4月（第1回はコロナのため8月に延期）にあり、企業価値の評価を受けることとなります。

私達は今回、佐世保高専魚市場チームとして出場し、巻き網漁業後の魚を仕分ける人手の不足が深刻化しているという課題に対し、ディープラーニングを用いた自動高速魚仕分け機を中心としたビジネスプランを発表しました。結果、3位という評価や起業に関する経験や知識を得ることができ、非常に出場して良かったと思います。将来起業する・しない、に関わらず、ビジネスや社会の仕組みを早いうちに知ることができます。身近にもビジネスチャンスはあるので、1年生からでも、ぜひ挑戦してみてください。学生のうちであれば、起業して、うまくいけばそのまま継続、うまくいかなければ進学就職、という様にリスクを格段に小さく、早いうちに経験を積むことができます。応援しております。



第1回ディープラーニングコンテスト



Aチームの大会時の様子

## ロボコン大会報告

機械工学科 4年 股張 康生

ロボコン部は昨年度18年ぶりの2年連続全国大会出場を成し遂げ、今年度は佐世保高専としては初の3年連続全国大会出場を目標に、日々活動に邁進して参りました。今年度のテーマは「はぴ☆ロボ自慢」と題して、周りの人をハッピーにするロボットを披露するというものでした。新型コロナウイルスの影響で、ルール発表が例年より2ヶ月遅れ、日々の活動時間も短くなる中で、佐世保高専からはA、B、C合計3チームの出場となりました。九州地区は全地区の中で最も多い28チームの出場で、その中から4チームが全国大会へ出場できるという狭き門でした。惜しくも3チームとも予選敗退となり、3年連続の全国大会出場は叶いませんでしたが、Aチームは「デザイン賞」、Bチームは「アイデア賞」をW受賞することができました。このような結果が残せたのも、日頃から多大なご支援をいただいております同窓会の皆様、保護者の皆様、本校関係者の皆様のおかげだと思っております。心より感謝申し上げます。

来年度はどのような大会形式となるかまだ分かりませんが、今年度の経験を活かし、2年ぶりの全国大会出場を目標に、部員一同精進して参ります。今後ともご支援、ご協力のほどよろしくお願いたします。



Bチームの大会時の様子



Cチームの大会時の様子

物質工学科 5年 津留崎 優斗

あなたは今何をしていますか。今、夢としている素材系メーカーの研究・開発に携わることが出来ていますか？

私は、中学性の頃から佐世保高専を通して8年間バドミントン部に所属をしていました。初めは、友人が入部するからという理由で始めたバドミントンでしたが、今では一番好きなスポーツです。そして、4年生になり周りの友人たちが就職活動を始めたときに自分が何をしたいか考えました。その時一番に思ったのが、自分自身バドミントンに貢献したいということです。

今の私の夢は、ラケットやシューズ、生活に欠かすことのできない様々な製品の素材に関する研究・開発に携わることです。そのために専攻科に進学をし、化学や生物だけでなく他の分野についても学び、多くの経験を積みみたいと思います。

将来のあなたがより良い技術者となって人々の役に立てるよう、今の私も頑張るので、お互い頑張りましょう。ことです。そのために専攻科に進学をし、化学や生物だけでなく他の分野についても学び、多くの経験を積みみたいと思います。

将来のあなたがより良い技術者となって人々の役に立てるよう、今の私も頑張るので、お互い頑張りましょう。



## 【佐世保高専同窓会報「沖新」への広告掲載募集のご案内】

同窓会では会報「沖新」への広告を下記要領で募集します。

1. 広告料金：サイズはA4の1/8頁で負担金は1万円
2. 申し込み方法：原稿をファイル化し、同窓会事務局 [dousou@sasebo.ac.jp](mailto:dousou@sasebo.ac.jp) にご送付ください。締切毎年2月末日

## 【同窓会への寄付金のお願い】

同窓活動は皆様の寄付金にて運営されております。

ご協力をよろしくお願い申し上げます。

寄付金振込先（寄付金額：一口5,000円）

◎郵便振替（口座番号：01810-8-2985）

加入者名：佐世保工業高等専門学校 同窓会

※振込用紙を同封しております

◎銀行口座（十八親和銀行・日宇支店）

（普）1272703：佐世保高専同窓会事務局

（注）「氏名+期+科」（例：キシタウ5C）で振り込み願います。

## 【編集後記】

コロナ禍のせいにははいけませんが、会報の編集が例年より1カ月遅れてしまいました。

大変申し訳ございません。4月12日に本部役員会で最終打合せを行い、原稿のまとめ作業に入っていた4月14日に訃報が入りました。佐世保高専2回生、電気工学科の川口淳さんが、ご病気のためご逝去されました。73歳であられました。川口先輩は、佐世保高専同窓会会長や同窓会50周年記念事業の実行委員長などを歴任され、現在まで本部役員として永年皆様のお世話を頂きました。本部や支部の同窓会宴席で、楽しいクイズや明晰なトークで会場を和やかな雰囲気にして頂きました。皆様と共にご冥福をお祈り申し上げます。今後とも先輩方が築いてこられた同窓会を活発で有意義な場所にし、皆様に親しまれる会報の発行を継続していけるよう努力いたします。

## 【佐世保高専同窓会 会報印刷及び発送委託業者】

小野高速印刷株式会社

熊本営業所：〒862-0951 熊本市中央区上水前寺1-12-12

電話：0120-58-3002 Fax：0120-81-2299

誌名 沖新（佐世保高専同窓会報）

発行日 2021年6月

発行 国立佐世保工業高等専門学校  
同窓会報編集委員会

〒857-1193 佐世保市沖新町1-1

電話&Fax：0956-34-8463

ホームページ <http://www.sasebo.ac.jp>

印刷：小野高速印刷株式会社